



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



静岡新聞

記事を読んで、問いに答えましょう。

解答例

2021年11月5日朝刊東部版

①この新聞講座の講師は「新聞記事の特徴」として何を挙げていますか。

(例)重要なニュースから書き始める「逆三角形」の書き方や見出しなど



新聞の書き方や読み方を学ぶ生徒＝三島南中

本社読者プロモーション局の社員が講師を務め、重要なニュースから書き始める「逆三角形」の書き方や見出しなど新聞記事の特徴について説明し、「まず何を伝えたいのかを考えることが大切」と呼びかけた。「膨大な記事を全て読むのではなく眺めて全体像を把握する」と読み方のコツも説明し、「新聞は数分で社会の状況が分かる時短メディア」と強調した。

三島南中本社講座でこつ学ぶ

新聞記事読み方は

三島南中本社講座でこつ学ぶ

総合学習の一環で新聞社の社員による「新聞づくり」に取り組み、三島市の南中で4日、静岡新聞の2年生175人が受講した。

②新聞づくりで、まず考えなければならないことは何ですか。

(例)何を伝えたいかを考えること

③新聞を効率的に読むコツとして講師が勧めているのはどんな読み方ですか。

(例)膨大な記事をすべて読むのではなく眺めて全体像を把握する読み方

④講師が強調した「新聞は数分で社会の状況が分かる時短メディア」とはどんなことですか。40字以内で説明しましょう(句読点を含みます)。

(例)見出しを中心に記事を眺めるだけで、短時間に社会の状況を知ることができる。(35字)

(例)時間をかけてじっくり読まなくても、全体を眺めるだけで社会で何が起きているかわかる。(40字) など

調した。生徒らは実際に新聞を手に取り、気にな

た記事を選んで紹介し、合った。同校では今後、各生徒が興味ある高校(三島支局・金野真仁)を紹介する新聞づくり

年 組 名前

作問者: 静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年～中学校/国語、社会、総合)